

令和7年度（2025年度）有田川町青少年育成町民会議主催

有田川町少年メッセージ

優秀作品（順不同・敬称略）

最優秀賞

「身近なあいさつに隠されていた意味」

八幡中学校2年 近藤 清香

「朝、目が覚めて思うことは」

金屋中学校1年 松本七音

優秀賞

「未来はきっと明るい」

石垣中学校3年 上西彩友

「未来へつなぐ覚悟」

吉備中学校2年 嘉成潤羽

入賞

「二人一人の心がけしだい」

石垣中学校1年 高垣 芽生

「尊敬するライバル」

吉備中学校3年 江川 結月

「かもしれない」

吉備中学校3年 吉村 莉愛

「中学生の私がたまに考えていること」

吉備中学校2年 大野 葉奈

講評

有田川町少年メッセージ審査委員長
石垣中学校校長 宮崎 俊和

今年度の「有田川町少年メッセージ」には、町内4校の中学校から604作品の応募がありました。日々の生活の中で感じたこと、考えたことを自分の言葉で真摯につづった作品が、数多く寄せられたことを大変うれしく思います。

この取り組みは、次世代を担う中学生の皆さんが、日常の中で出会った出来事や心の動きを通して、自身と向き合い、社会や未来に目を向ける機会となることを目的としています。そして、その声を地域の人たちが受け止め、理解を深めていき、郷土の未来を共に築く一歩となることを願っています。

今年度の作品には、家族や地域の人々との関わりの中で得た気付きや感謝の思い、将来への不安と希望、そして平和や命の尊さについて深く

考えたものなど、多様なテーマが見られました。特に、最優秀賞に選ばれた2作品は、日常の中にある「あいさつ」や「感謝の心」に込められた意味を見つめ直し、人とのつながりの大切さを力強く伝えてくれました。また、優秀賞の2作品も、将来への迷いや葛藤を乗り越えようとする姿、戦争と平和についての真剣な問いかけが印象的で、読む者の心に響くものでした。

どの作品にも共通していたのは「人と人とのつながり」や「心の成長」そして「未来を見つめるまなざし」です。中学生の皆さんが、自分の体験や思いを通して社会と向き合い、言葉にして伝えようとする姿勢に、私たち大人も多くのことを学ばせていただきました。

発表会では、特にメッセージ性の高い作品が披露されました。発表者の皆さんの言葉は、どれも中学生らしいみずみずしさと、真剣なまなざしにあふれており、会場にいた人の心を動かししました。

最後に、応募してくださった全ての中学生の皆さんに、心からの感謝と拍手を送ります。これからも、自分の思いや考えを大切にし、言葉にして伝える力を育んでいってください。その一歩一歩が、きっと未来を明るく照らしてくれるはずです。